



◀上手に刈れるかな

▶早く乾いてね



## 収穫の喜びを実感

### 稲刈りに挑戦

9月29日、雨で延期になっていた山武北小学校5年生の稲刈りが、沖渡地区の田んぼで行われました。

地元の綿貫榮一さんが田んぼの先生となり、種をまくところから子どもたちに指導してきました。

子どもたちは、泥だらけになりながら、元気に稲を刈り、収穫の喜びを味わいました。

ある程度刈り取ると今度は、田んぼの先生から刈り取った稲の縛り方とおだかけの説明を受けました。今年は、稲の数が昨年より多いようで、たくさんの稲がおだに掛かりました。

稲が乾くと次は、脱穀、モミすりの作業が子どもたちを待っています。

## 訓練を活かし現場に臨む

### 東消防署で救助技術基本訓練を実施

山武郡市内の南消防署（大網）・中央消防署（東金）・東消防署（山武）が合同で9月13日に東消防署で、救助技術基本訓練が実施されました。

実施内容は、交通救助、高所救助、火災救助などで、各消防署に分かれて実施しました。

また、この訓練は、実施する直前の5分前に訓練の内容、事故の状況などの情報が知らされるもので、与えられた時間は5分間。その間に、状況の把握・救助の方法の確認などを行い、実践さながらに行われました。

鈴木東消防署長は「今日の訓練で実施した事を各署に持ちかえりこれからの活動に活かしてほしい」と話しました。



▲東消防署の交通救助訓練



▲松尾中学校プール脇で作業する会員

## 作業をとおして、連携を図る

### 山武市建設業災害対策協力会が木々を伐採

山武市建設業災害対策協力会が、9月22日にボランティアで松尾中学校プール脇の生い茂った木々の伐採を行いました。

参加した33人の会員は、暑い中、汗だくになりながら、広さ約300㎡の範囲を作業しました。

松尾中学校の菅藤校長は「木々がおいかぶさっていたので、きれいになり助かりました」と感謝していました。

同協力会は、市内の47社の会員からなり、災害が発生したとき協力して復旧作業などのボランティア活動をする団体として組織されたものです。

会長の佐久間さんは、「この作業をとおして、協会員の連携の強化や、人間形成にも役立っていますね」と話していました。